

英語活動指導案 (公開授業)

指導者 HRT 坂本 礼子
ALT David collins

1 題材名 「この果物，何色？ I」

2 題材について

(1) 本時に関わる英語活動

1年生は入学してから3ヶ月がたち、様々な場面で学校生活に慣れてきた様子が見られるようになってきた。入学当初、どうしたらいいのか分からないことばかりでとまどっていたが、今では各教科の学習・学校生活のきまり・各種の当番活動等を楽しみながら行っている。現在、国語科ではひらがなの読み・書きを習得し言葉作りを楽しんでいる。算数科では1～10の数字の意味・読み・書き、そしてたし算の学習に入っている。たくさんの教科での学びの中で英語活動も今まで3時間行ってきた。1時間目は「あいさつをしよう I」の中でALTの先生の自己紹介を聞き、あいさつの言葉『How are you? I'm tired.』などを行ってきた。2時間目は「自分の名前を言ってみよう!」『What 's your name? My name is ○○.』を行った。3時間目は「数字を言おう! (1～10)」に取り組んだ。身体表現や歌を交え、楽しく学習できている。

(2) 題材の特徴

子どもたちに好きな食べ物の名前をあげさせるとたいいていの子どもがくだもの名前を真っ先にあげた。大好きなくだもの名前は店頭でも英語を使ってのカタカナ表現で紹介されている。特に英語と意識しなくても自然な形で英語に触れることのできる低学年に適した題材だといえる。今回の活動の中で自分にとって1番身近なくだものが、日本語と英語の2つの言い方があるのを知ること、外国の文化を知る入り口になる。大好きなくだもの言い方を知ることを通して、他の英語についてもっと知りたいという関心も高まっていくと思われる。また、色を知る活動の後で色と関連させながら自然にくだもの名前の学習に入ることができる。学びの連動性や継続性が得やすく、集中力を持続させるのが難しい1年生にとって進んで授業に参加することのできる題材だと考える。

(3) 場の設定，活動内容の工夫

今まで学んだあいさつから始まり、担任やALTの先生と言葉を交わしコミュニケーションを行いながらリラックスした雰囲気です授業を始めたい。1時間目に学習した「How are you」の歌で体を思い切り動かし大きな声で歌うことで前時までの英語活動を振り返り、本時の活動へのやる気や自信を持たせたい。色おに遊びは、これまででも体育の授業で何度か行っている。ルールも簡単でわかりやすい。英語を難しく感じる子供も少ないであろう。本時45分間の授業時間中に「あいさつ」「歌」「チャンツ」「ゲーム3種類」等といった異なる活動を取り入れ、何度も繰り返し少しずつ英語で表現し、対HRTや対ALT及び児童同士で互いにコミュニケーションし合う場を取り入れるように活動内容を工夫した。いろいろな内容で次々と活動を進めるうちに自然と英語に慣れ親しむことができると考えている。

3 児童の実態

(1) 学校生活全般に関わって

本学級の児童は、男子22名・女子10名 計32名のクラスである。全体的に活発で明るい子どもが多いが、女子の中で数名人前に出て話すのが苦手な子どもがいる。基本的な生活習慣は比較的よく身につけていて男女仲良く過ごしている。活動的で元気な反面、落ち着きがなくすぐに立とうとしたり、話の途中でおしゃべりを始めたりするなどけじめのない面が時々みられる。「いいめ」「いいこえ」「いいなかま」を学級目標に掲げ、現在「話を最後まで聞く」ことを重点に置き指導している。

(2) 英語活動の意識調査に関わって

事前の意識調査では、英語活動が「好き」「どちらかというが好き」と答えた児童がほとんどだった。その理由は「みんなでゲームすることが楽しい」「歌がおもしろい」「ALT の先生が好き」という答えが多かった。友だちと一緒に体を動かしたりゲームをしたりする楽しさを感じている子どもが多いようだ。また ALT の先生との英語を通じてのコミュニケーションを楽しく感じている子どももいる。

一方で、英語を苦手と感じ始めている子どももいる。「おぼえなくてはいけない」とか「ゲームのやり方がわからない」ことが「英語って難しい」＝「嫌いだ」と捉えられないように、みんなにわかりやすい簡単な内容のゲームに精選していきたい。また、覚えなくてもいいという言葉がけをし、安心して英語活動に取り組めるようにアクティブ講師の先生と連携をとり、子どもの様子に応じて声をかけてあげたい。さらに「Help me」という児童同士で教えあう手段も取り入れながら仲間と助け合い、苦手意識を持たせないよう配慮していききたい。

(3) 英語活動全般に関わって

まだ3時間程度の英語活動だが「あいさつ」の学習の後、歌声集会や学級で数回英語で「あいさつの歌」を歌ってきた。朝の健康観察に英語で体調を言う取り組みも始めた。また、給食を食べる時、放送委員会が軽快なリズムの英語の歌を流してくれている。気に入った音楽が流れるとディスクジョッキーの真似をして英語を曲として楽しんでいる。普段の授業の中でも時々簡単なクラスルームイングリッシュを使って話している。少しずつだが英語を理解して行動できるようになってきた。まだ英語活動の経験が少ない1年生だが学校生活の中では、児童が気づかない内に普段から英語を耳にする機会がたくさんある。

自分の思いや願いを伝える方法は言葉が多い。しかし言葉以外でも顔の表情や声の高低・大きさ・テンポの違い・ジェスチャーを使って自分の思いを伝えたり相手の気持ちを読み取ったりする方法（ノンバーバルコミュニケーション）もある。言葉での会話を大事にしながら、様々な方法で自分の考えや思いを相手に伝えようとする心を育てていきたい。また仲間と関わり合う機会を大切に、共に活動するよさや楽しさをたくさん味あわせたいと思う。

4 本時の学習

(1) 日時：平成20年6月27日（金） 5校時（13：30～14：15）

(2) 場所：北杜市立高根西小学校 1年教室

(3) ねらい：身近な果物の名前とその果物の色の言い方にふれる。

(4) 言語材料： red, yellow, green, pink, purple, blue
apple, banana, melon, peach, grapes

(5) 展 開：

時間	子どもの活動	HRTの支援	ALTの支援	教材・教具
2	1 あいさつをする。	HRT : Let's begin. S : OK! HRT : Good afternoon,everyone. S : Good afternoon, Ms. Sakamoto and David. HRT : How are you? S : I'm great.(happy. good. hungry etc) ALT : I'm happy. HRT : Me ,too. Let's sing a song , “How are you ” .		

3	2 「How are you ?」 を歌う。	○子どもと一緒に音楽に合わせて歌う。 ★ジェスチャーを交え楽しそうに歌っているか。	○雰囲気を盛り上げるため、大きなジェスチャーで皆の前で歌う。	CD ラジカセ
8	3 今日のトピック (①色の学習) (1)色を英語でいう言い方を知る。	○体育でやった色おにを思い出させながら、着ている洋服で色の単語を確認する。	○発音の手本になる。 ALT : Color , color! HRT : What's color? ALT : Purple. HRT : Purple touch.	カラー カード 数種類 (色だけ ・動物の 絵・身近 な実物な ど)
red yellow green pink blue purple				
1 2	4 Black box ゲームをする。	○ゲームの説明をする Let's enjoy a color touch game. ★意欲的にゲームに参加しているか? ☆タッチする時、友だちにぶつかったりしないように注意する。	○さわる色を英語で発音する。 ○速くさわった人を「No 1」と言い讃える。	ブラック ボックス リンゴ バナナ メロン ブドウ
ALT : Hi, this is a black box. Can you answer by 2 hints ? No1 hint is color. No2 hint is touch.				
<p><ルール></p> <p>①各色グループから代表2人を先生とのジャンケンで選ぶ。 “Rock scissors paper 1.2.3”</p> <p>②8人(赤・黄・青・緑)は、順番に前に出る。</p> <p>③同じ色グループの人が中の物を見て色を言う。(第1ヒント)</p> <p>○ALT の話を聞き、日本語でゲームの説明をする。</p> <p>○クイズの進行をする。</p> <p>○What's this?の言葉で合図を出す。</p> <p>○当たったら Good job とほめる。</p> <p>apple melon banana grapes を自然な形で言う。</p> <p>○間違っていたら Thank you と英語で励ます。</p>				

	<p>④代表2名が、箱の中の物をさわって中の物を予想する。 (第2ヒント)</p> <p>⑤代表者が相談して一緒に日本語で答える。</p>			
1 2	<p>5 今日のトピック (②くだもの)</p> <p>(1)くだもの発音に慣れる。</p>	<p>○実物とくだものカードで示す。</p>	<p>○英語でくだもの名前を言い、発音の手本になる。</p>	<p>くだもの 絵カード</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> apple banana peach grapes melon </div>			
	<p>(2)ALTと一緒に言ってみる。</p> <p>(3)ラインゲームをする。 ＜ルール＞ 児童は2グループに分かれ、それぞれ1列ずつ並ぶ。音楽が流れている間、絵カードを見て答える。できるだけ多く答えたチームの勝ち。</p>	<p>Let's say fruits name.</p> <p>☆チャンツのリズムに合わせて言えるように子どもと一緒に英語で言う。</p> <p>○ゲームの仕方を説明する。</p> <p>☆ Help me ! を使った子供を支援する。</p> <p>★ゲームを楽しんで行っているか。</p>	<p>○発音の手本になる。</p> <p>○HRTと一緒にチームにカードを見せ、ゲームを進行する。</p> <p>○ポイントを黒板に貼りゲームを盛り上げる。</p>	<p>ミニくだもの絵カード(1チーム40枚)</p> <p>C D ラジカセ T2 : ゲームの支援 キャラクターの絵</p>
3	<p>6 今日の授業を振り返る。 ＜ any questions ＞</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> かき マンゴーなど </div>	<p>○感想やもっと知りたいことがないか聞き、数名の児童に発表させる。</p>	<p>○子供の質問に答える。</p>	
4	<p>7 [Brown bear, Brown bear, What Do You See?]を読んでもらう。 (時間に余裕があったら)</p>	<p>○今日知った色が出てくる絵本を紹介する。</p> <p>☆静かに聞けるよう声をかける。</p>	<p>○[Brown bear, Brown bear , What Do You See?]の絵本をゆっくり英語で読む。</p>	<p>絵本 椅子</p>
1	<p>8 終わりのあいさつをする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> HRT : Let's finish! S : OK! ALT : Good by, everyone. S : Good by, David. ALT : See you. S : See you. </div>		

★観察ポイント ☆支援のポイント

5. 成果と課題

○成果 (指導主事の先生からのコメントより抜粋)

- ・ warm-up (How are you? song) は、ジェスチャーを交え歌を通して授業に集中し、切り替えができた。歌を導入に扱うことが有効であった。
- ・ 身近な洋服で色の言い方を知り、ゲームを通して友だちとのコミュニケーションを図りながら、果物の発音に触れていくという展開だった。授業の流れは自然で、色と果物の名前を関連させながらその言い方に触れ、親しむことができていた。
- ・ Black box ゲームは、中の果物が何か関心が高く、思わずのぞき込んだり、前の方に押し寄せたりしたが意欲は高かった。
- ・ ラインゲームは、個々の児童の実態が出ており、すぐに答えられない児童には「Help me」が有効だった。お互いの交流場面があり、コミュニケーションの素地を育む要素を感じた。
- ・ 友だちや授業者との関わりの中で思わず「言いたくなる」「聞きたくなる」という場面設定がされていた。英語を使うことが目的でなく、英語を通して友だちや先生とふれあい、コミュニケーションを図ることの大切さを感じられた授業だった。
- ・ 最後に行った色の絵本「Brown bear , Brown bear What Do you see?」を ALT が読む活動は、静かに英語の発音やお話を聞く良い場面となった。一方最後に児童の関心が動物に向かったので、次時(動物大好き)へつなげるように使用してもよいと思う。絵本もねらいに合わせての使用をよく考えるべきだと感じた。



●課題

- ・ 子どもたちへのインプットを確実にするために、できればヒントをよく聞いてから手を挙げるようにすればよかった。
- ・ ALT と HLT のタイミングが決め手だったが、事前の打ち合わせがあったのに1度うまくかみあわない場面があった。お互いに会話しあう場面では、もっと念入りに打ち合わせをしておく方がよかった。
- ・ これからも1時間の活動内容を精選し、活動が少なくても Input と Output が十分に確保されるように、活動の流れや内容を工夫していくことが大切だと思う。
- ・ ALT の出番を多用し、例えば「ゲームの仕方」「会話のやりとり」なども ALT が行うなどして子どもたちへの「Input」を豊かにしていくことも大切である。
- ・ 低学年児童の実態に合わせ、授業形態も「床に座る」のではなく「椅子に座る」などして余計な注意がなくなるよう考えていきたい。

6. 授業の様子から



「ラインゲーム」
色のタッチゲームと Black box ゲームの後に個々の児童でフルーツの名前を言うゲームを楽しみました。

～ Help me! の活用場面～

助けを求めるとすぐ後ろの友だちが小さな声で教えてくれました。

♪バックに流れる音楽が段々速くなり気持ちがあせってきます♪

ALT は、ニュージーランド出身です。子どもたちの集中を持続する工夫として「ニュージーランドの手遊び」を授業の中に取り入れてくれました。

～異国の雰囲気を楽しみ、英語への興味が一層高まりました～

ALT の個性は、どんどん生かしたいです。



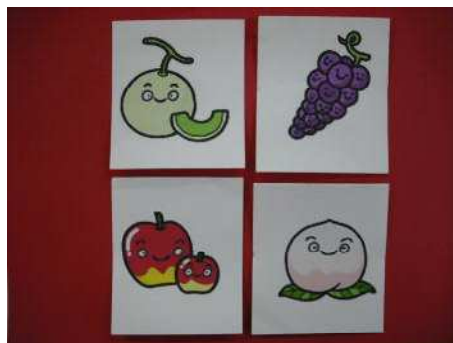
*子どもの近くに寄り添って下さるのは、アクティブ講師の先生です。授業の中で常に子どもの近くにおいて、分かり易く声をかけたり一緒に遊んでくれたりします。

7. 資料

① Black box

②フルーツカード

③絵本に出てくる色のきれいな動物



<横から手を入れて触ってみます>

英語活動指導案 (自主公開授業)

指導者 HRT 坂本 礼子
ALT Tegan

1 題材名 「動物だいすき」

2 場の設定・活動内容の工夫

- ・先生や友だちとの関わりあいを楽しめるように、全体・班と活動の場を増やした。
- ・前時までに学習した色・体の部位が生かせる内容（クイズ）を取り入れた。

3 本時の学習

(1) 日時：平成20年11月17日（月） 4校時（11:40～12:25）

(2) 場所：北杜市立高根西小学校 1年教室

(3) ねらい：動物の言い方にふれ、ゲームを通して先生や友だちとの関わり合いを楽しむ。

(4) 言語材料：dog cat rabbit monkey bear elephant mouse lion tiger panda koala (Animal)

(5) 展 開

時間	子どもの活動	HRTの支援	ALTの支援	教材・教具
2	1 あいさつをする。(あいさつ)	HRT : Let's begin. S : OK! HRT : Good morning, everyone. S : Good rorning, Ms Sakamoto and Ms Tegan. HRT: How are you? S: I'm great. (happy. tired . good. etc) ALT: I'm happy. HLT: Let's sing , Head shoulders.		
3	2 「Head shoulders(体)」を歌う。 (ウォームアップ)	★ジェスチャーを交え楽しそうに歌っているか。 Good job Please sit down	○雰囲気を盛り上げるため、大きなジェスチャーで皆の前で歌う。	C D ラジカセ
10	3 今日のトピック（動物の名前） (1)動物の名前をクイズで答え、英	○動物の写真を小さく折りたたみ、クイズにする。 今まで習った単語も交え	○英語でヒントを出す。 ☆後につながるジェス	クイズ用 動物カード

	語での言い方を知る。	ヒントを出す。 ★ ALT の発音をしっかり聞いているか。	チャーを交えて言う。 ☆ ゆっくりわかりやすく発音する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>ALT: What's this? S: cat. (rabbit monkey elephant)</p> </div>				
8	<p>(2) 発音の練習をする。</p> <p>(3) ジェスチャーゲームをする。 ＜ルール＞ ① 言われた動物になりきる。(個) ② 動きを見て動物を当てる。(予想した動き) cat :手をグーにして前 rabbit :手を耳に monkey:グーを上下 elephant:腕を鼻のように ③ ALT の発音を聞き,動物になる。(全員)</p>	<p>○ 絵カードで繰り返し練習する。 ☆ チャンツのリズムに合わせて言えるように一緒に英語で言う。</p> <p>○ ゲームの説明をする。 Let's play the ジェスチャー game.</p> <p>★ 意欲的にゲームに参加しているか?</p> <p>☆ 動きのいい子を手本にするように話す。</p>	<p>○ リズムに合わせて軽快に発音する。</p> <p>○ 動きの上手な子を英語でほめる。</p>	リズムボックス
8	<p>4 「動物すごろくゲーム」をする。</p> <p>① 班の4人でまるくなる。 ② Rock、scissors、paper 1・2・3でじゃんけんをする。 ③ 1番勝った人からサイコロをふる。 ④ 進んだ目の動物を英語とジェスチャーでまねをする。わからなくなった時、[Help me]を言えば周りの人にたずねることができる。 ⑤ ゴールについたら勝ち。時間まで何度でもやっていい。</p>	<p>○ ゲームの説明をする。 ☆ 言葉を忘れた時は[Help me]でたずねるようにいう。 ☆ ゲームの進行の様子をみながら、やり方がわからない子どもの援助をする。</p>	<p>○ HRT と一緒にゲームを試してみる。</p> <p>○ 班の様子を一緒に見て、ほめる。</p> <p>○ 間違っていたら「Thank you」と英語で励ます。 • Excellnt. すごい、みんな!</p>	<p>掲示用 すごろく サイコロ</p> <p>動物すごろく(8つ)</p> <p>サイコロ(8つ)</p> <p>T2 :ゲームの支援</p>
10	<p>5 「アニマルバスケット」をする。</p> <p>① 全員で円を作り、いすにすわる。 ② オニになった人に全員で</p>	<p>○ ゲームの仕方を説明する。 Let's play 「Animal バスケット」. Do you understand?</p>	<p>○ 「What's this?」の言い方や発音のモデルになる。</p>	T2 : ゲームの支援

<p>What' this ? と質問する。 ③オニになった人が言った動物の人たちは、他の席にうつる。 ④席が見つからなかった人が次のオニになる。 *以降同様に行う。 *「Bear and dog !」のように2つでもいい。</p>	<p>Are you ready? ★ゲームを楽しんで行っているか。</p>	<p>○英語でゲームの様子を賞賛する。</p>	<p>首かけ用の動物カード</p>
<p>3 6 今日の学習の振り返り (まとめ) < any questions > <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> きりん・かば など </div></p>	<p>○感想やもっと知りたいことがないか聞き、数名の子どもを指名する。</p>	<p>○子供の質問に答える。</p>	<p>ALT 用 辞書 日本語→ 英語</p>
<p>1 7 終わりのあいさつをする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80%; margin: 0 auto;"> HRT : Let's finish! S : OK! ALT : Good by everyone. S : Good by, Ms Tegan. ALT : See you. S : See you. </div>		

★観察ポイント ☆支援のポイント

* 「動物大好き」の指導案の流れに合わせるため、指導計画の10月と2月を交換しました。
(前時「昆虫」の代わりに「体の部分」を行った。)

* 「体の部位」の言語材料

head shoulder arm hand knees foot toes eye nose mouth ear

4. 授業の様子

「歌と踊りで Warm-up」



「ジェスチャーゲームで動物のあてっこ」





“♪ head shoulders knees and toes ♪”



「この動物はなに？」



みんな動物になりきってます！